

日本教育新聞 2009.10.19

# ホントのねがいをつかむ 自閉症児を育む教育実践

赤木 和重・佐藤 比呂二 著

障害児の教育実践者と発達研究者との  
コラボレーションから生まれたすてきな  
本。表紙に載っている笑顔の2枚の写真  
が、そのことを雄弁に物語っている。  
本書には、自閉症という障害を持って  
生まれてきた子どもたちに対する温かく  
共感的なまなざしがある。ただ



## 人間観・発達観を問い直す

それだけではない。自閉症児に  
対する科学的な理解に基づいた  
教育実践の方向性を真摯に検討  
し、それを追求しようとする強  
い意志が満ちあふれている。  
ともすれば自閉症児教育にお  
いては、「コミュニケーション  
・スキルの獲得」などのような  
技術的な指導が強調されること  
が多い。本書では、そうした教  
育の重要性を認めつつも、「障  
害特性に応じた教育」には、その  
子どもを「障害特性」の中に閉じ  
込めてしまう危険性が内包され  
ていることを指摘している。  
障害を持っている故に見えに  
くい子どもの本当の願いをつか  
み、そこから出発する。そうし  
た教育実践の中で一歩ずつ、少  
しずつ成長していった大吉君の  
笑顔もまたすてきである。

本書は、実践記録、2人の対談、理論的  
論文の3つから構成されている。上記の  
ような共通の問題意識が通底しており、  
どこから読み始めても学ばべきことが多  
い。自らの教育実践における人間観・発  
達観を問い直すにも絶好の本といえる。

(都筑 学・中央大学教授)

全国障害者問題研究会出版部 1785  
円

CO3・5285・2601